

実 研究 等学校における家庭科授業研究

和歌山大学教育学	被服学	今村 律子
	住居学	村田 子
家庭科教育・	物学	山本 奈美
県立熊 等学校		上村 桂
県立田 等学校		畠 真千子

## 1. はじめに

等学校家庭科教員と学 家庭科教育専攻教員の授業研究や情報交換を行う場を構築することを目指し、昨年度から県立熊 等学校における Kumano サポーターズリーダー ボランティアを行う団体の活動を して、携を 始した。昨年度は、等学校における生徒の活動実態を知り、家庭科への授業の取り組みを模索することとした。今年度は、携校が複数となったことから、共同して活動していく方向を検 することとした。本報では、本年度の活動内容について報告する。

## 2. 活動報告

### 1 7 月 12 日 第 57 回和歌山県 等学校家庭クラブ指導者 成 座への参加

本年度、熊 等学校が「和歌山県家庭クラブ 盟理事校」となり、上富田町文化会小ホールで 催された当 座へ学 教員 3 人 今村、村田、山本 が参加した。 校生が 者世帯を 問し、地域における 者の安否確 を行っている「ハートフルチェックボランティア」体の報告、「 知症サポーター 成 座及び上富田町社会福祉協 会の取り組み」の 習会があった。 校生が 習の実技を実施している時 帯には、 校生を引率してきた各 等学校家庭科教 と意見交換・交流を行うことができた。学校現場における間 点等に して多くの情報を得ることができた。参加教員の中には、卒業生も含まれており、活の様子もうかがわれた。今後の県下家庭科教員との 携につなげていきたい。

### 2 2020 年 1 月 20 日 月 Kumano サポーターズリーダー 2 年生による「すべての命を救うプロジェクト」についてのヒアリング及び製作現場の見学

来年度の学校家庭クラブ全国大会において、 畿ブロック代表として発表が予定されている活動「AED 使用時におけるプライバシー保 シートの 発」に して、 発の経緯や製作程についてキャプテンから 明を受けた。 発の段 で、企業や公的機 との検 が十分なされており、製作されているシートは 常に利用価値の いものとなり得る。布の素材や裁断方法など製作に する具体的な内容についても、意見交換を行うことができ、生徒の活動を支えている教員の立場が理 できた。家庭科で学習する被服製作の技能・知 が活用されており、SDGs の視点も まえた活動となっていた。当日は、学 教員 2 人 今村、山本 の参加に加え、家庭科専攻の大学 生も同行した。 等学校教員採用 に今年度合格しており、本取り組みは今後の大学 生の教員としての活動に 常に参考になるものであった。

### 3 ホームプロジェクト全国大会発表に するサポート 田 等学校

本年度、全国大会での発表 おいしく低塩 未来のカラダへ に して、 生活担当教員 山本 がサポートを行った。今後、協力体制がさらに確立されていけば、より早い段 から一緒に活動することが可能となるであろう。

## 3. おわりに

本 携は、まだ緒についたばかりである。今後、新たな参加者を募り、 携の を広げていくことにより、学校現場における家庭科の授業が充実していくことに寄与したい。